



秋の茅刈りイベント、村内外90人が参画！！

11月9日に、秋の茅刈りイベントを開催。村内外より約90名の方々が参加し、約900束の茅を収穫しました。

このイベントは、平成27年世界遺産20周年記念イベントでの茅刈りを契機に、「茅の刈り手の高齢化」「秋の観光繁忙期による刈り手不足」「茅の村内自給率の向上」といった課題を解決すべく、翌年より新たなイベントを立ち上げました。それが「われらが紡ぐ白川郷かややねプロジェクト」。今回で4回目をむかえます。

主催は守る会となりますが、住民組織だけでは到底継続が困難なイベント。課題解決にむけて多くの組織や有志の皆様のご支援ご協力によってこのイベントは成り立っています。まず、村内に刈り手がないのなら、外部支援者を動員しよう。その支援を日本ナショナルトラストが担ってください。チラシを作成し、毎年50人も参加者を白川へ。都心にて茅刈り有志の会議を何度も開催し、イベントの企画を検討。それがリピーターの定着にもつながっています。村教育委員会は、トラストと村民・守る会を結ぶイベントの核。当日も多くの職員が村民として参加くださいました。茅場の整備・造成には合掌保存財団の支援が。当日の茅刈り指導では、地元の屋根葺き業者「白川郷かや屋根技術舎」がリーダーとなり大活躍。守る会の大きな役割は、地元参加者の増員と参加くださる外部支援者との交流。茅を必要とする合掌所有者でつくる合掌保存組合の参画や今回は「おもてなし隊」として前夜際や直会にお手伝いくださる女性陣も多く参画くださいました。また、翌日は村外参加者の屋根組み体験や白川郷ツアーの運営と、多くの方々のご支援にただただ頭が下がるばかりです。

トラストよりいただいた、村外参加者のアンケート結果を見ると、97%が参加して良かったと回答。「大変だけど慣れてくると楽しい」「貢献できて嬉しい」「村民と交流しながら楽しめた」「白川への理解と愛着が深まった」と好意的な回答が。また、「人も地域もステキ」「住民同士の距離感が近くうらやましい」「毎年の交流が楽しい」「文化を守り育てていくことの大切さを知った」「刈り終えた茅場を観て感動」「2日間茅刈りでもOK」といった嬉しい感想もお寄せいただきました。

鈴木企画部長の「この茅刈りイベントを、結の屋根葺きと同じくらい価値のあるイベントに高めたい」との想い。守る会が目指すべき姿は、まさそこにあると感じています。継続は力なり。多くの方々の参画に心より感謝申し上げますとともに、茅刈りイベントに対する忌憚のないご意見を守る会にお寄せください。

【文責：和田】



【茅の刈り方を学んでから、スタート！！】



【茅倉庫に運んだ茅は、900束！！】



【直会で、盃を交わしながら歓談のひと時】

白川郷学園茅刈り体験！！・・・学園の伝統

行事となった茅刈り。10月28日に開催され、6～9年生54人が茅刈りを体験。守る会より5名が指導者として参画しました。「自分たちの手で合掌家屋の保全に貢献しよう」「量より質。丁寧な作業で均一できれいな束をつくろう」「結の精神で力を合わせて」と、生徒参加者一丸となって奮闘しました。体験し学ぶ子どもたちの姿からは、将来の白川村を担う頼もしさをも感じました。今回収穫した茅は、来春以降の村内合掌家屋の材料として活用されます。学園の取り組みに心より感謝申し上げますとともに、礼状に掲載された生徒の感想を以下に紹介します。【文責：和田】



今回は後期課程だけでなく6年生も参加して行いましたが、6～9年生みんなが協力して、たくさん刈ることができました。昔の人たちが苦勞していたのも、3年間通して、十分に分かりました。今考えると「茅」も「どぶろく」などと同じように、毎年一年間準備して創り上がっていきんだなと思えました。昔ながらの活動、作業も文化のようなものだと思います。【礼状より生徒の感想を転載】

備えあればうれいなし！！・・・「消防団組織や放水銃等機材の充実」「訓練の成果」「住民

の意識」において報道等でも高く評価いただきましたが、「火に弱い合掌」の恐ろしさを痛感した出来事でもありました。各組寄合にて出たご意見を定例会にて交流しましたので、以下に記します。まずは、住民自らができること、備えていきましょう。【文責：和田】

- ・訓練のおかげで、放水銃がしっかり活用できた。その反面、放水銃が行き届かない場所も判明。老朽化による地下パイプの破損も心配。合掌家屋には初期消火と延焼防止が必須。これを契機に新たな放水銃の設置や老朽化対策、消火栓の増設等を計画的に進める必要を痛感。
- ・放水銃は使えたが、付属のホースの使用は未経験。それらを使った訓練もしなければ。また、多くの男性が消防団として出動するため、集落内が手薄。子どもや女性でも機材を動かす訓練を。
- ・タバコのポイ捨てがとても気になる。集落内全面禁煙にはできないのか。
- ・家の周りの環境を美しくしておくことが、ゴミやタバコのポイ捨て防止につながる。
- ・火の用心巡視は、周りへの注意喚起だけでなく、回る人の心の戒めでもある。しっかり継続を。
- ・伝建物の緊急電気設備の点検が実施される（別紙参照）。また消防署による消火栓の点検も終了。村や議会、消防署の素早い対応に感謝。点検後不良箇所の指摘があった場合は速やかに改修を。

守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 11月の活動報告 ＝

11月 8日 11月定例会・京都女子大生活デザイン研究室発表
11月 8日 秋の茅刈りイベント前夜際（参加者有志）
11月 9日 秋の茅刈りイベント・直会
11月 10日 イベント2日目（屋根組体験・白川郷ツアー）

11月 11日 ねそ11月号配付
11月 22日 旧寺口家雪囲い作業（守る会他有志）
11月 23日 センガ岩倉庫冬期使用入れ替え作業
※ 1月の定例会は、16日(木)公民館にて開催を予定しています。

☆ 12月の協議事項（現状変更申請に関わって） ☆

NHK岐阜・・・ネットワークロボットカメラ設置
白川村・・・旧藤坂家雨どい及び雪止め取り付け

*****改築

※センガ岩倉庫アンケートへのご協力ありがとうございました。荻町住民にとって必要な施設であり、新倉庫の建設に向け、村へのお願いを進めたいと考えています。大寄合にて皆様のご意見をお聞かせください。